

米取引関係者の判断に関する調査結果 (令和4年5月分)

公益社団法人米穀安定供給確保支援機構（米穀機構）は、米の需給動向や価格水準などの取引状況を把握することを目的に「米取引関係者の判断に関する調査」を毎月実施しています。

令和4年5月分の調査概要については次のとおりです。

【調査概要】

米取引関係者に対して、需給動向や価格水準などの取引動向に関するアンケートを実施し、その結果をDI[※]として算出したものです（詳細は6ページ参照）。

令和4年5月分の主な調査結果

主食用米の需給動向のDI値は、前月と比べて現状判断は「横ばい」、見通し判断は「増加」となりました。

主食用米の価格水準のDI値は、前月と比べて現状判断、見通し判断とも「やや増加」となりました。

■主食用米の需給動向

- ア. 現状判断DI 34（前月からの増減 +1）
- イ. 見通し判断DI 42（前月からの増減 +5）

■主食用米の米価水準

- ア. 現状判断DI 22（前月からの増減 +2）
- イ. 見通し判断DI 50（前月からの増減 +3）

※DI (Diffusion Index)

アンケート回答者の判断や方向性を指数化したものです。

米取引関係者の判断(令和4年5月)

1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)

①主食用米の需給動向

(ア)現状判断DI

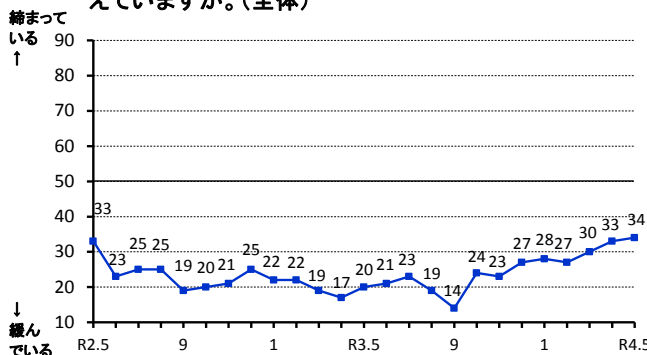
前月からの増減 +1 (今月の数値 34)

(イ)見通し判断DI(向こう3ヶ月)

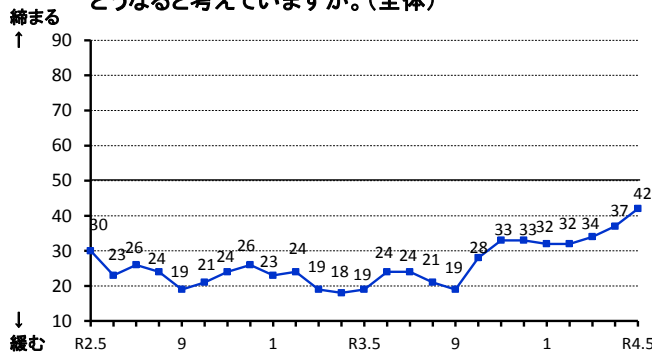
前月からの増減 +5 (今月の数値 42)

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

①-ア 国内の主食用米の”現在の需給動向”について、どう考えていますか。(全体)



①-イ 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の需給動向”について、どうなると考えていますか。(全体)



②主食用米の米価水準

(ア)現状判断DI

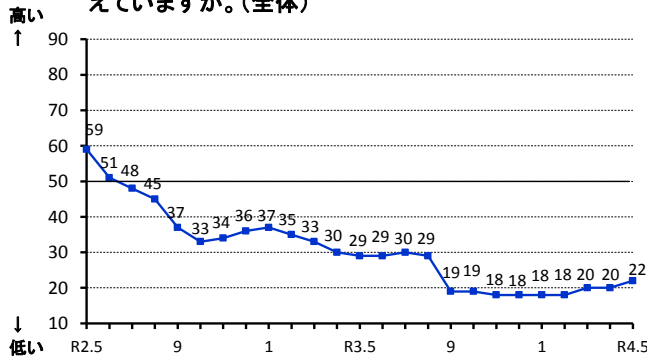
前月からの増減 +2 (今月の数値 22)

(イ)見通し判断DI(向こう3ヶ月)

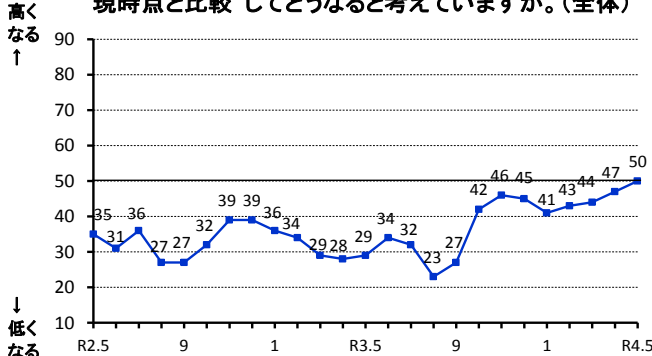
前月からの増減 +3 (今月の数値 50)

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

②-ア 国内の主食用米の”現在の米価水準”について、どう考えていますか。(全体)



②-イ 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の米価水準”について、”現時点と比較”してどうなると考えていますか。(全体)



③ 取引関係者が①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
R2.5	3%	18%	1%	38%	33%	3%	5%
R2.6	3%	27%	2%	35%	26%	6%	2%
R2.7	4%	32%	2%	34%	18%	5%	5%
R2.8	5%	39%	1%	34%	9%	7%	4%
R2.9	4%	40%	1%	38%	9%	7%	1%
R2.10	9%	37%	1%	39%	10%	4%	1%
R2.11	5%	34%	2%	42%	10%	6%	1%
R2.12	4%	32%	4%	35%	19%	5%	1%
R3.1	2%	30%	4%	41%	18%	3%	2%
R3.2	1%	33%	5%	40%	19%	3%	0%
R3.3	2%	37%	0%	41%	16%	5%	0%
R3.4	1%	41%	2%	38%	14%	4%	0%
R3.5	2%	39%	1%	42%	11%	6%	0%
R3.6	1%	37%	6%	40%	10%	6%	0%
R3.7	4%	40%	6%	35%	8%	7%	1%
R3.8	3%	40%	3%	37%	7%	7%	2%
R3.9	5%	41%	3%	38%	7%	5%	1%
R3.10	5%	37%	7%	37%	7%	7%	0%
R3.11	5%	30%	5%	42%	9%	8%	0%
R3.12	2%	36%	2%	37%	15%	7%	0%
R4.1	1%	31%	4%	38%	17%	8%	2%
R4.2	1%	33%	3%	34%	24%	3%	2%
R4.3	1%	35%	3%	35%	21%	5%	1%
R4.4	1%	33%	2%	37%	17%	7%	2%
R4.5	2%	29%	4%	39%	15%	9%	1%

(注) 新型コロナウイルスの感染拡大により令和2年4月分調査は中止しました。

2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、
 反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の販売数量に関する現状判断DI

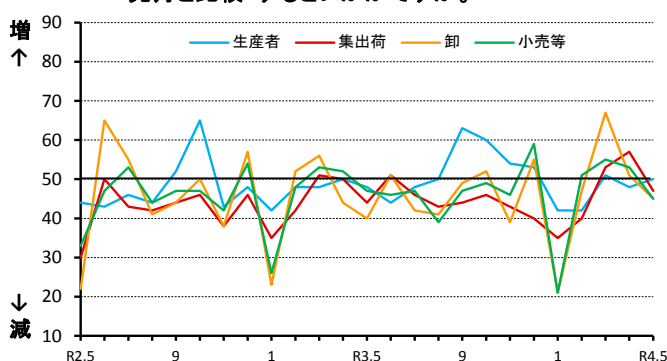
a. 先月との比較

生産者	： 前月からの増減	+2	(今月の数値 50)
集出荷	： 前月からの増減	-10	(今月の数値 47)
卸	： 前月からの増減	-6	(今月の数値 45)
小売等	： 前月からの増減	-8	(今月の数値 45)

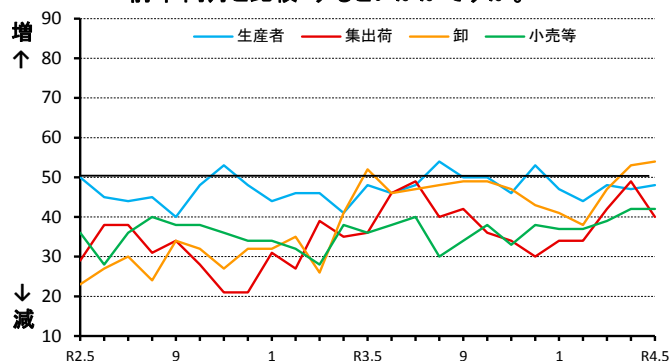
b. 前年同月との比較

生産者	： 前月からの増減	+1	(今月の数値 48)
集出荷	： 前月からの増減	-9	(今月の数値 40)
卸	： 前月からの増減	+1	(今月の数値 54)
小売等	： 前月からの増減	±0	(今月の数値 42)

①-A-a 貴社の”今月”の主食用米の”販売数量”について、 ”先月と比較”するといかがですか。



①-A-b 貴社の”今月”の主食用米の”販売数量”について、 ”前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の販売数量に関する見通しDI

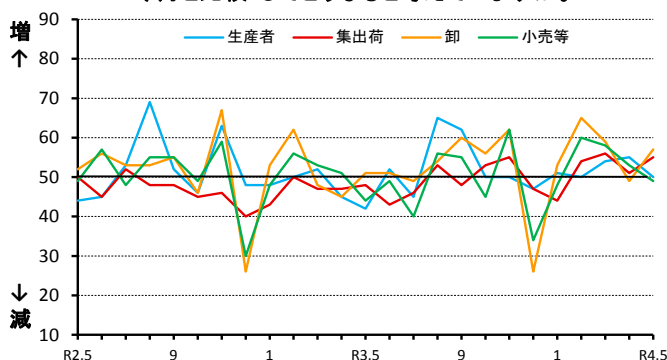
a. 今月との比較

生産者	： 前月からの増減	-5	(今月の数値 50)
集出荷	： 前月からの増減	+4	(今月の数値 55)
卸	： 前月からの増減	+8	(今月の数値 57)
小売等	： 前月からの増減	-4	(今月の数値 49)

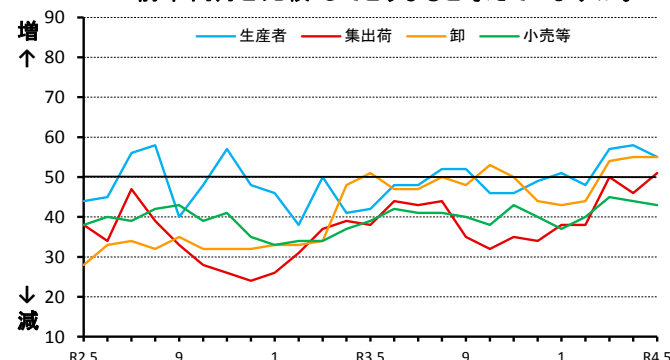
b. 前年同月との比較

生産者	： 前月からの増減	-3	(今月の数値 55)
集出荷	： 前月からの増減	+5	(今月の数値 51)
卸	： 前月からの増減	±0	(今月の数値 55)
小売等	： 前月からの増減	-1	(今月の数値 43)

①-I-a 貴社の”来月”の主食用米の”販売数量”について、 ”今月と比較”してどうなると考えていますか。



①-I-b 貴社の”来月”の主食用米の”販売数量”について、 ”前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の価格に関する現状判断DI

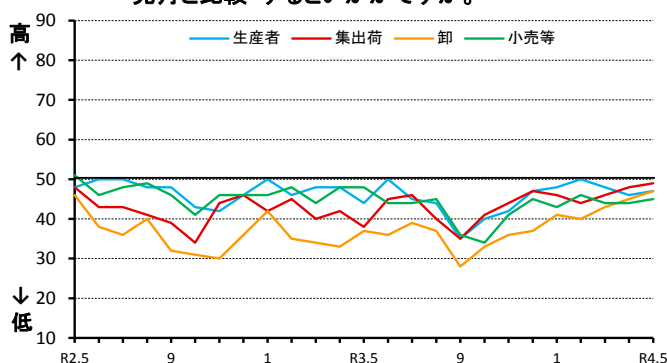
a. 先月との比較

生産者：前月からの増減	+1	(今月の数値 47)
集出荷：前月からの増減	+1	(今月の数値 49)
卸：前月からの増減	+2	(今月の数値 47)
小売等：前月からの増減	+1	(今月の数値 45)

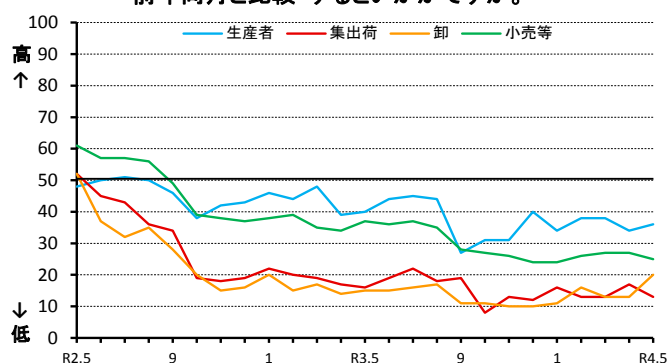
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	+2	(今月の数値 36)
集出荷：前月からの増減	-4	(今月の数値 13)
卸：前月からの増減	+7	(今月の数値 20)
小売等：前月からの増減	-2	(今月の数値 25)

②-ア-a 貴社の“今月”の主食用米の“価格”について、“先月と比較”するといかがですか。



②-ア-b 貴社の“今月”の主食用米の“価格”について、“前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の価格に関する見通しDI

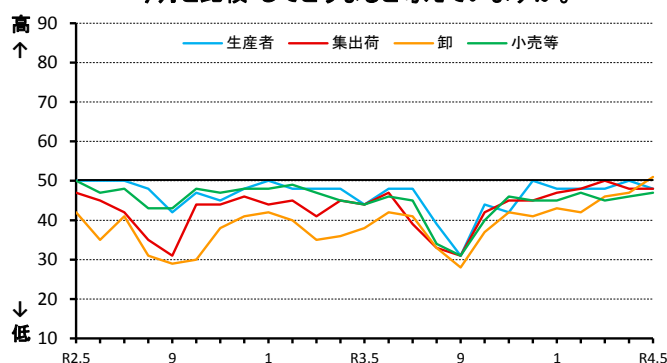
a. 今月との比較

生産者：前月からの増減	-2	(今月の数値 48)
集出荷：前月からの増減	±0	(今月の数値 48)
卸：前月からの増減	+4	(今月の数値 51)
小売等：前月からの増減	+1	(今月の数値 47)

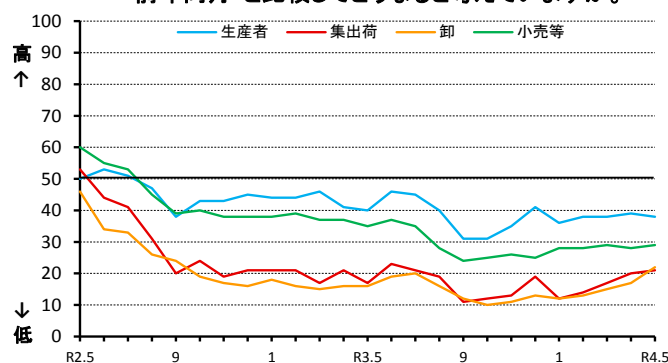
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	-1	(今月の数値 38)
集出荷：前月からの増減	+1	(今月の数値 21)
卸：前月からの増減	+5	(今月の数値 22)
小売等：前月からの増減	+1	(今月の数値 29)

②-イ-a 貴社の“来月”の主食用米の“価格”について、“今月と比較”してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の“来月”の主食用米の“価格”について、“前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来)多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来)少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の在庫量に関する現状判断DI

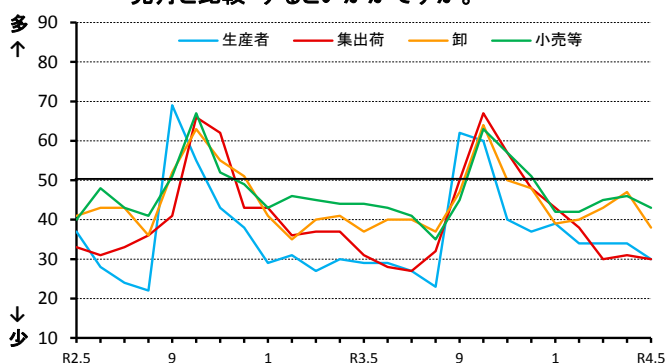
a. 先月との比較

生産者：前月からの増減	-4	(今月の数値 30)
集出荷：前月からの増減	-1	(今月の数値 30)
卸：前月からの増減	-9	(今月の数値 38)
小売等：前月からの増減	-3	(今月の数値 43)

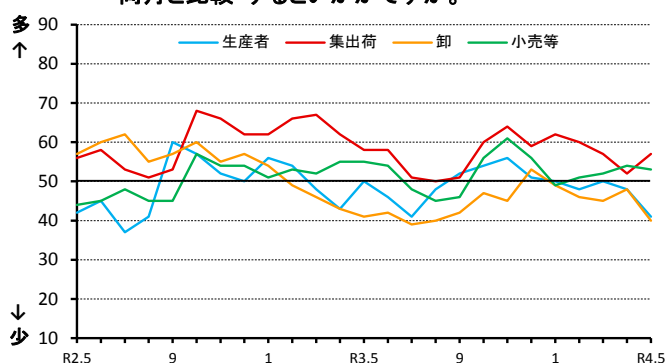
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	-7	(今月の数値 41)
集出荷：前月からの増減	+5	(今月の数値 57)
卸：前月からの増減	-8	(今月の数値 40)
小売等：前月からの増減	-1	(今月の数値 53)

③-ア-a 貴社の“今月”の主食用米の“在庫量”について、“先月と比較”するといかがですか。



③-ア-b 貴社の“今月”の主食用米の“在庫量”は、“前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の在庫量に関する見通しDI

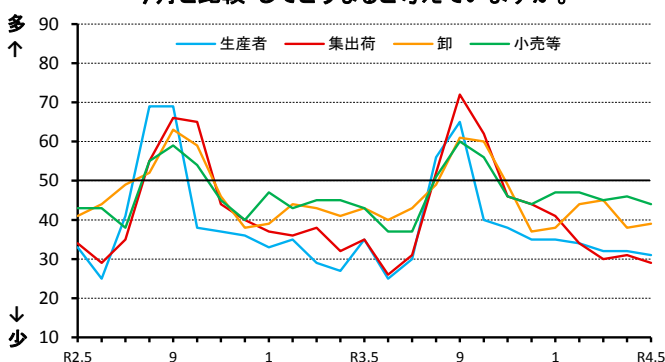
a. 今月との比較

生産者：前月からの増減	-1	(今月の数値 31)
集出荷：前月からの増減	-2	(今月の数値 29)
卸：前月からの増減	+1	(今月の数値 39)
小売等：前月からの増減	-2	(今月の数値 44)

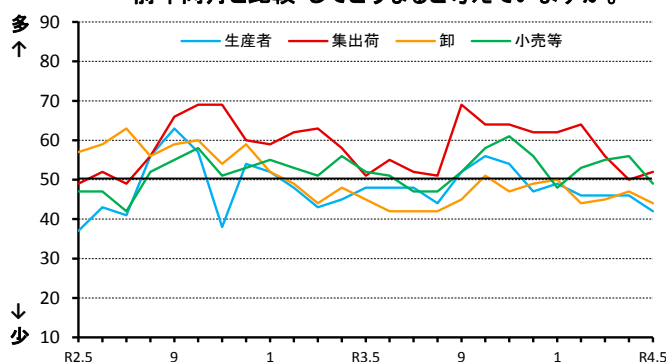
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	-4	(今月の数値 42)
集出荷：前月からの増減	+2	(今月の数値 52)
卸：前月からの増減	-3	(今月の数値 44)
小売等：前月からの増減	-7	(今月の数値 49)

③-イ-a 貴社の“来月”の主食用米の“在庫量”について、“今月と比較”してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の“来月”の主食用米の“在庫量”について、“前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



《アンケート方法等》

- 調査期間：毎月1日から25日頃までの取引状況を踏まえて回答
- 調査方法：電子メールを利用したアンケート調査
- 調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の180客体
※ 米取引関係者の動向をより適切に反映したものとなるよう、本年1月にアンケート対象事業者の拡充及び一部入替を行いました。
- 有効回答数：144客体
 - 生産者・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
 - 集出荷業者／団体・・・・・・・・ 24
 - 卸売業者（主に主食用米）・・・・ 27
 - 小売業者／中食・外食業者・・・ 45
 - その他・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

※「その他」は以下の業者です。

 - ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
 - ・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者
- 結果公表：翌月上旬（公表日時は半期ごとにホームページに掲載）

《利用上の注意》

- 本アンケート調査は、今後必要に応じて変更することもあり得ます。
- 表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（％）に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

【DIの算出例】

（問）国内の主食用米の”向こう3ヶ月の米価水準”について、”現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

本件に関する問い合わせ先
〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町15-15
公益社団法人米穀安定供給確保支援機構
情報部 TEL03-4334-2161（直通）